

第三章 国際性をはぐくむ市民活動の活性化

第一節 国際化への対応

主たる担当課

国際理解を深めるための情報の充実	43101	企画課
国際化対応能力の向上	43102	企画課
新たな国際化推進基本方針の策定	43103	企画課

第二節 外国人もくらしやすいまちの実現

外国人や帰国者への支援	43201	企画課
-------------	-------	-----

第一節 国際化への対応

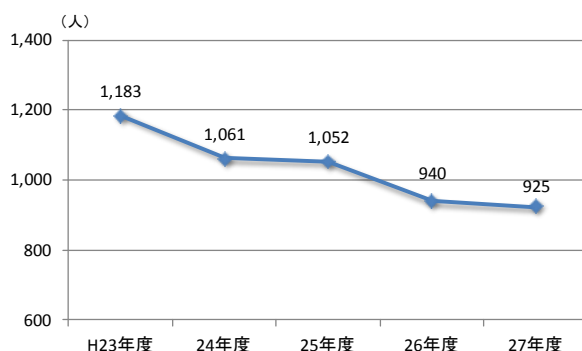
現状と課題

- 経済のグローバル化や情報通信技術の発達、交通手段の進展などにより、日常生活の中で外国人と出会ったり、異文化に直接ふれたりするなど、外国人と交流する機会が増えています。また、就労や留学などによって外国に滞在する日本人や、日本に滞在する外国人も増加しています。このため、市民が、外国や外国人を理解して、地域社会における外国人との共生や海外での活動を行っていかねばならなくなっています。さらに、環境や食糧の問題など、日本のおかれている状況を地球的視野で考えていかねばならないことも多くなり、国際化に対応できる人材の育成と環境づくりが必要となっています。そのため、市民が外国人とのコミュニケーション能力や国際感覚を身につけ、さまざまな国際的課題に取り組めるよう支援することが求められています。
- 平成22年には、多文化共生という新しい国際化のあり方を踏まえた「第二次国際化推進基本方針」を策定し、外国人との交流や日本人の国際理解を進める「我孫子市国際交流協会」とともに、国際化への対応を進めてきました。また、小中学生が外国語や外国人をより身近に感じ国際感覚を身につけられるよう、小中学校の各クラスでALT（外国語指導助手）による授業を実施するとともに、日本在住の留学生を講師として招き、母国の文化・教育についての授業を実施するなど、国際理解教育を推進しています。さらに、我孫子市国際交流協会と連携して、国際交流まつりや国際交流スピーチ大会などの交流事業を行っています。
- 今後も、市民が国際理解を深めるため、国際性豊かなイベントや国際交流団体などが実施する講座や展覧会など、異文化にふれるための情報を充実させることが必要です。また、市民や子どもたちの国際性を豊かにすることや国際感覚を備えた市職員の育成など、国際化対応能力の向上を図ることが求められています。

■国別外国人登録者数

	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
中国	496	500	459	475	472
朝鮮・韓国	230	226	217	219	204
フィリピン	—	—	162	175	166
ベトナム	—	—	48	102	130
ネパール	—	—	—	—	41
タイ	—	—	43	39	-
アメリカ	30	30	—	—	—
その他の国	533	533	341	347	352
総数	1,289	1,289	1,270	1,357	1,365

■ALT 1人あたりの児童生徒数



施策の展開

○国際理解を深めるための情報の充実 43101

市民や子どもたちの国際性を育むため、国際性豊かなイベントや地域での体験イベント、国際交流団体などが実施する講座、展覧会などにより、外国の文化や習慣など、国際理解を深めるための情報を提供します。

○国際化対応能力の向上 43102

市民の国際理解の促進や国際感覚を備えた市職員の育成のため、講座や教室などにより、国際化対応能力の向上を図れる環境をつくります。また、学校での授業などを通して、子どもたちの国際化対応能力の向上を図ります。

○新たな国際化推進基本方針の策定 43103

地域の国際化を進めるため、平成29年度を初年度とする新たな国際化推進基本方針を策定し、外国人との交流機会の充実、市民の国際性の向上や市内推進体制の整備などに取り組みます。

目標・指標

目標

【43101】外国の文化や習慣などを理解するための情報が提供されている。

【43102】市民、子ども、市職員の国際化対応能力が向上している。

【43103】新たな国際化推進基本方針が策定されている。

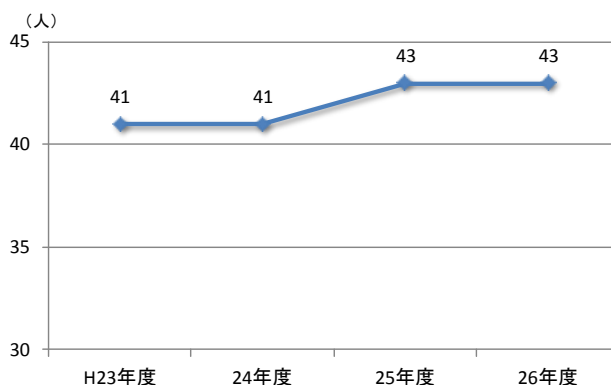
指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成26年度	平成33年度
「国際性をはぐくみ、外国人もくらしやすいまちづくり」施策に対する市民満足度 （市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合） 43101	28.5% (27年度)	35%
市ウェブサイトの国際化情報への年間アクセス数 43101	2,000件	2,500件
国際交流まつりの来場者数 43101	335人	400人
小中学校の外国語活動・英語学習に対する満足度 43102	87.5%	95%
国際理解講座等への参加者数 43102	91人	150人
新たな国際化推進基本方針の策定の進捗率 43103	—	100%

第二節 外国人もくらしやすいまちの実現

現状と課題

- 我孫子市には、平成27年1月現在、1,365人の外国人住民が居住しており、人口の約1%を占めています。
- 市では、我孫子市国際交流協会と連携して、「広報あびこ」の月1回の英訳、外国人相談窓口の設置、くらしの便利帳の英訳版「リビングインアビコ」の発行、外国人のための日本語教室の開催、日本語の不自由な外国人児童生徒への支援など、外国人の日常生活を支援するとともに、公共サイン計画に基づき、市内の公共サインにローマ字併記を進めています。
- 今後も、外国語による生活情報の提供、外国人市民の日本語能力の向上、公共サインのローマ字併記、日本語の不自由な外国人児童生徒への支援などに取り組み、外国人市民が安心して生活できる環境を整備するなど、外国人もくらしやすいまちの実現を進める必要があります。
- また、外国人市民は、地域社会を担う一員であることから、外国人市民に自治会やまちづくり協議会などの活動情報を提供するとともに、地域での活動に参加できるよう地域に働きかけをしていく必要があります。

■「外国人のための日本語教室」を支える市民の数



施策の展開

○外国人や帰国者への支援

43201

外国人市民や帰国児童生徒が安心して日常生活を送れるよう、相談窓口や外国語での情報提供の充実、外国人向け日本語講座等による日本語能力の向上などを図ります。また、外国人市民が地域活動に参加できるよう、行政や自治会などの活動情報を提供していきます。

目標・指標

目標 【43201】外国人市民や帰国児童生徒が、安心して日常生活を送ることができる。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
「外国人のための日本語教室」を支える市民の数 （ボランティア教師と託児ボランティアの合計） 43201	43 人	66 人